

プログラム	エビデンスとプラクティスの両立 2
テーマ	<p style="text-align: center;">～イベントで終わらせない～</p> <p style="text-align: center;">ICN が考える手指衛生向上への長期的戦略</p>
セッション概要	<p>手指衛生が感染対策の基本であるという理解は医療の現場に浸透しつつあるが、手指衛生が必要な場面すべてにおいて、適切に実施される状況には至っていない。手指衛生をはじめとする予防対策が適切に実施されていれば、防ぐことができた感染事例が医療施設での問題として報告される状況は、いまだ絶えることがない。手指衛生は、簡単で誰でもできる方法であるにも関わらず、施設内のすべてのスタッフに浸透、徹底させることは容易でなく、ICN が頭を悩ませているのも現状であろう。</p> <p>手指衛生の改善を目的として、様々なキャンペーン企画、研修の実施、アルコール払い出し量の計測、直接観察法の実施など、あの手この手で各施設取り組まれていると思われる。一方、組織において手指衛生の風土を作り、耕し、継続させていくことは一朝一夕でできるものではない。自施設の手指衛生の現状についてアセスメントを行い、長期的な視野で計画し、実行、評価そして改善という地道な積み重ねこそが、そのための重要なプロセスである。</p> <p>本セッションでは、各施設で取り組まれている具体例を紹介するとともに、一つ一つの取り組みをイベントで終わらせることなく、手指衛生の風土づくりに着実に組み入れて、醸成・継続させていく長期的戦略のヒントとしたい。</p>